

JCI 中性子線を用いたコンクリートの検査・診断に関する FS 委員会 (TC184F)
第 4 回委員会 議事録 (案)

日時：2018 年 12 月 17 日 (月) 16：30～17：30

場所：JCI 第 5 会議室

出席者：小林委員長 (岐阜大)，大竹 (理研)，久保 (金沢大)，長谷 (NEXCO 総研)，瀬古 (愛知工大)，石川 (中研コンサル)，酒井 (東大)，富井 (大林組)，松沢 (建築研)，渡辺 (鉄道総研)，依田 (清水建設)

オブザーバー：須長，吉村，水田 (理研)

敬称略

議事：

1. 第 3 回委員会議事録の確認

- ・ 小林委員長より，第 3 回委員会議事録について説明があり，内容について了承された。
 - 委員会継続のためには報告書を提出する必要がある。ただし，JCI に提出する報告書は冊子である必要はない。
 - 報告書を作成する場合，委員の名前記載について問題がある場合がある。会社により対応が異なるため，今後確認することとなった。
 - JCI に提出するものとは別に，印刷版の報告書を作成したい。ただしこれは委員会の内部資料とし，委員にのみ配布する予定である。

2. 各 WG の活動報告

- ・ 瀬古主査より，本日の文献調査 WG の内容および今後の予定について説明がなされた。
 - 各委員から文献リストが提出された。
 - 中性子線で測定できる項目ごとに文献調査結果を区分し，欠陥，単位水量，応力，水分移動，土壌，セメントペースト，塩分の 7 項目を取り上げる。
 - 項目ごとの 200～500 字程度の説明文を記述する。
 - 文献リストの締め切りは来年 1/7 とし，1/8 に幹事が取りまとめる。
 - 項目ごとの説明文の締め切りは来年 1/17 とし，1/18 に幹事が取りまとめる。これをニーズ WG の報告書の文献調査からのニーズ (現在の報告書 (案) の第 5 章) に挿入する。
- ・ 長谷主査より，本日のニーズ調査 WG の内容および今後の予定について説明がなされた。
 - 報告書の背景では，SIP 報告書を参考に，世の中の動きを示した上で中性子線利用の展望を述べる。
 - 理研での現在の開発動向を追加する。
 - 中性子線利用の展望 (報告書 (案) の第 4 章) について，中性子線を詳細な調査に利用する場合とスクリーニング技術として利用する場合に区別して整理する。
 - 参考文献を示す。
 - 年内に各委員が執筆し，幹事が整理したものを来年 1 月の幹事会に提出する。

3. 報告書作成について

- 報告書内容について意見が出された。
 - 章立ての番号表記を WG 間で統一する必要がある。
 - ニーズ WG の報告書（案）第 1 章背景は，ニーズ WG における現状と課題を示していることになるため，その前に全体の背景が必要である。
 - 来年度以降，本委員会として継続して何をするかを定める必要がある。
 - 大竹幹事より，理研での研究開発の現状の説明がなされた．可搬型プロトタイプである RANS-II は来年 8 月頃に中性子発生を予定している．まずは現場ニーズのある反射法の利用を想定している．委員会の継続申請が採択されれば，RANS-II を使った計測により，現場で求められるサイズ感と計測精度を確認し，内容を委員全員で共有したい。

4. 次回の予定

- 幹事会を 2019 年 1 月 7 日（月）15：00～17：00 に実施する。
- 本委員会では委員構成は仕切り直しになるが，まずは現在のメンバーで 2019 年 3 月中に委員会を開催し，次年度からの活動計画について議論する。

以上